

□ 要請番号 (JL02418A07)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	G121 バレーボール		個別	交替	2年	・2018/3 ・2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

サバナケット県教育スポーツ局

3) 任地 (サバナケット県カイソン郡) JICA事務所の所在地 (ビエンチャン特別市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機で約1.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1)県内における各種スポーツの普及・振興 2)競技大会の企画・実施 3)国内で開催されるスポーツ大会への選手派遣 4)スタジアムの運営・管理等を行っている。バレーボールは過去に6名の青年海外協力隊(JV)が派遣され、現在は6代目が活動中である(2019年1月まで)。配属先では陸上競技、柔道(共に2018年6月まで)のJVも活動している。現在、練習に来る選手の多くは学生であるため、練習は学校が終わる夕方から夜にかけて実施されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

過去6代にわたるJV派遣により同県におけるバレーボールの技術向上が図られたことで、県代表チームが強化されたほか、バレーボールの普及・振興のため学校巡回活動も実施され、新しくバレーボールを始める選手も出てきた。現在活動中のJVは、学校巡回活動で発掘した選手、及び県代表候補選手等、約40名を日々指導している。配属先は2020年に開催予定の全国学生スポーツ大会に向けて、引き続きボランティアの協力を得て、代表チームを強化したいと考えており、本要請がなされた。同僚コーチが他業務のため多忙で、毎日練習に来ることはできないので、選手たちに練習方法を考えさせ、選手だけでも練習が成り立つようになると望ましい。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先、同僚と相談し、以下の活動を実施する。

1. 選手に対するバレーボール指導を行う。
2. 県代表チームの強化を行う。
3. 普及・振興のための活動考え、行う(学校への巡回指導など)。
4. 将来の指導者育成を行う(可能な範囲で)。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

屋内バレーボールコート、バレーボール15個、トレーニング用具

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・教育スポーツ局局长(50代男性)
- ・カウンターパート(30代女性、数年のバレーボール指導経験あり)
- ・指導対象: 12-24歳の男女約40名(レベルは初心者から上級者まで様々)

5) 活動使用言語

ラオ語

6) 生活使用言語

ラオ語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（競技経験）5年以上 備考：県代表チーム指導の為

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（15～40℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

- ・2020年:全国学生スポーツ大会、2021年:国体(開催時期は、変更の可能性あり)